

## （２）環境保全措置の内容

環境保全措置に取り上げられる種は案件によって様々であるが、実施する内容は同様のものが多い。動物と植物に分けて、終了案件の環境保全措置の内容を表 2.6-1、表 2.6-2 にそれぞれ整理した。

これによると、動物では、湿地や草地、洞窟などの対象種の生息環境を新たに確保する「代替地の整備（代替地への移設を含む）」が最も多く、次いで周辺の既存の類似環境への「移設」、「工事時期、時間帯、施工方法の配慮」、「直接改変の回避、改変区域の縮小」の順となっており、16 種類の内容に分類された。

植物では、対象種の「移植」が際立って多く、次いで「生育環境の創出」、「播種」、「乾燥防止のための林縁部の植栽」の順となっており、9 種類の内容に分類された。

表 2.6-1 動物に関する環境保全措置の内容の分類

番号	環境保全措置の内容	分類	種名等
1	代替地の整備 (代替地への移設を含む)	哺乳類	コキクガシラコウモリ、カヤネズミ、アナグマ
		鳥類	アオバズク、フクロウ
		爬虫類・両生類	イモリ、トノサマガエル、シマゲンゴロウ、ニホンヒキガエル、 ニホンアカガエル(2)、ヤマアカガエル、カジカガエル、セマルハコガメ、 セキシマアオヘビ、ハナサキガエル類
		昆虫類	ウラナミジャノメ本土亜種、オオゴキブリ、ウマノオバチ、 ヤエヤマクビナガハンミョウ、ヤエヤマミツギリゾウムシ、ナガオオズアリ
		魚類	メダカ(2)、ニッポンバラタナゴ、カゼトゲタナゴ
	貝類など水生動物	ヒラマキミズマイマイ、オオヤドカリ(2)、ヤシガニ、ヤエヤマアツブタガイ、 ヤエヤマヒラセアツブタガイ、ノミガイ、ヨフノミギセル、ムラサキヤドカリ、 ナキオカヤドカリ、オカイシマキガイ、ムラクモカノコガイ、コハクカノコガイ、 サキシマヌマエビ	
2	移設	爬虫類・両生類	イシガメ、ジムグリ、シロマダラ、オオイタサンショウウオ、キノウエトカゲ
		昆虫類	コガタゲンゴロウ
		魚類	メダカ(2)
		貝類など水生動物	ヒラマキミズマイマイ、オキギセル、オオヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ、 ナキオカヤドカリ
3	工事時期、時間帯、施工方法の配慮	哺乳類	小型コウモリ類
		鳥類	カモ類、シギ・チドリ類、猛禽類(2)、サシバ、ズグロミゾゴイ、カンムリワシ、 リュウキュウツミ
		爬虫類・両生類	アカウミガメ
		魚類	メダカ、トカゲハゼ
4	直接変更の回避、変更区域の縮小	鳥類	猛禽類、ミサゴ、
		魚類	メダカ(2)、カワバタモロコ、ニッポンバラタナゴ
		貝類など水生動物	サンゴ類
5	土砂流出防止、濁水防止 フェンス等の設置	魚類	カワバタモロコ、ニッポンバラタナゴ、カゼトゲタナゴ、メダカ、トカゲハゼ
		貝類など水生動物	サンゴ類
6	構造物による移動経路の確保 (ボックスカルバート等)	爬虫類・両生類	ニホンヒキガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、カスミサンショウウオ
		貝類など水生動物	オオヤドカリ類(2)、ヤシガニ、ムラサキオカヤドカリ、ナキオカヤドカリ
7	照明等の配慮	哺乳類	カヤネズミ
		爬虫類・両生類	アカウミガメ
8	騒音対策(防音扉など)	鳥類	猛禽類、鳥類、ハヤブサ、ツル類(ナベヅル、マナヅルなど)
		爬虫類・両生類	アカウミガメ
9	仮囲いの設置	鳥類	ツル類(ナベヅル、マナヅルなど)
10	進入防止柵の設置	哺乳類	ホンDOIタチ、アナグマ、動物(2)
11	植栽等による生息環境の 復元	哺乳類	カヤネズミ、小型コウモリ類
		鳥類	フクロウ、鳥類(2)、ツル類(ナベヅル、マナヅルなど)
		爬虫類・両生類	ニホンアカガエル、アカハライモリ、
		昆虫類	フタテンナガアワフキ、ウラナミジャノメ本土亜種(2)、タテハモドキ、 ヒオドシチョウ、オオムラサキ、ハルゼミ、
		貝類など水生動物	オカヤドカリ
12	海水交換の確保	魚類	トカゲハゼ
13	冷却水の取水・放水位置、 水質・水温の配慮	貝類など水生動物	海生生物(2)、サンゴ類
14	採餌環境の整備、確保	哺乳類	小型コウモリ類
		鳥類	コノハズク、チョウゲンボウ
		昆虫類	ツマグロキチョウ、タイワンツバメシジミ本土亜種
15	工事業者の指導(重要種の 周知、ロードキル配慮など)	哺乳類	小型コウモリ類、重要な種、動物
		鳥類	水鳥
16	側溝へのスロープ設置	—	小動物

注) ( ) 内の数値は、複数の案件で取り上げられていることを示す。

表 2.6-2 植物に関する環境保全措置の内容の分類

番号	環境保全措置の内容	種名等
1	移植	キンラン、ミズマツバ(3)、ホシクサ、ルリミノキ、マルバノホロシ(2)、セッコク、ミヤコアオイ、ナガミノツルキケマン、オニコナスビ、ヒメナベワリ、エビネ(3)、シチメンソウ、ヒロハマツナ、ウラギク、コイヌガラシ、カワヂシャ、ウンゼンカンアオイ、ミズワラビ、ヒョウガトウキ、ミズネコノオ、ミゾコウジュ、スズメノハコベ、ニセヨゴレイタチシダ、オリヅルシダ、イズハハコ、シュンラン、ナギラン、コ克蘭(2)、フジツツジ、フユノハナワラビ、キエビネ、マツバラン、ヒメハコシダ、サワオグルマ、クビレミドロ、アダン、イソマツ、モクビヤクソウ、ハリツルマサキ、ヤエヤマスズコウジュ
2	生育環境の創出 (移植を含む)	ミヤコジマハナワラビ、ハンゲショウ、アカハダグス、ガランビネムチャ、クサミズキ、ヒジハリノキ、イシガキカラスウリ、タイワンアシカキ、ツルラン、パイケイラン、テツオサギソウ、ヤエヤマクマガイソウ、コウトウラシラン、アコウネッタイラン
3	播種	ミズマツバ(2)、ホシクサ、ルリミノキ、マルバノホロシ(2)、ミヤコアオイ、ナガミノツルキケマン、オニコナスビ、ヒメナベワリ、エビネ(2)、キイレットトリモチ
4	直接変更の回避、 変更面積の縮小	シチメンソウ、ヒロハマツナ、ウラギク、カワヂシャ
5	乾燥防止のための林縁部 の植栽	カワリバアマクサシダ、アコウネッタイラン、カワリバアマクサシダ、ヒジハリノキ
6	植栽	オニヤブソテツーハマワラビ群落、スダジイ群落
7	室内増殖技術開発試験 の実施	クビレミドロ
8	土砂流出防止対策の実施	カワヂシャ
9	工事中の注意喚起 (目印の設置)	カワヂシャ

注) ( ) 内の数値は、複数の案件で取り上げられていることを示す。